

# 看護師のキャリアに 関する文献研究

—論文タイトルのテキストマイニングによる分析—

山陽学園大学看護学部看護学科 實末郁花

指導教員 林 由佳

# 目次

- ▶ 研究動機・背景
- ▶ 研究目的
- ▶ 調査方法
- ▶ 分析方法
- ▶ 用語の定義
- ▶ 結果
  - ▶ 1 年次推移
  - ▶ 2 論文タイトルの基本情報
  - ▶ 3 単語頻度分析
  - ▶ 4 キャリア中期・中堅看護師の研究の増加
  - ▶ 5 ワーク・ライフ・バランスの重視
  - ▶ 6 キャリア研究の変動
  - ▶ 7 看護師のクリニカルラダーの影響
- ▶ 結論
- ▶ 限界と課題
- ▶ 謝辞
- ▶ 引用文献

# 動機 1

臨地実習



看護師経験年数に関係なく、私が目標とする人間性豊かな看護を行っているモデルとなる数名の看護師に出会った。

## 動機 2



経験年数が看護師の成熟度に関係しているわけではなく、看護師自身の目標と看護観が関係しているのではないか？

看護師の実力や能力がどのように形成されているのかを考えていきたいと思い、看護師のキャリアや成熟度合について関心を持った。

# 背景 1 日本の看護におけるキャリア

- ▶ 2010年 看護師の臨床研修の努力義務化
- ▶ 2015年 特定行為にかかる看護師の研修制度
- ▶ 2016年 日本看護協会から看護師のクリニカルラダーが公表
- ▶ 2017年 看護師のクリニカルラダー施行

これらは、2025年に高齢化が進み医療を必要とする人が増加していくことが要因となり、医療を支える者として看護師のキャリア形成がますます期待されていることであるといえる。

# 背景 2

## 成人キャリア成熟尺度 (ACMS) 坂柳 1999

- 成人（勤労者）が自己のこれからの人生や生き方、職業生活、余暇生活について、どの程度成熟した考えを持っているのかを測定・評価する尺度。

## 看護師の職業的キャリア成熟度測定尺度 林 2006

- 坂柳のACMSを基礎に、看護という職業の特殊性を前提とした尺度。
- ①自己教育性（目的と対処能力）、②職業満足・充実感、③コミットメント、④自他の容認、⑤職業基盤（生活・健康基盤）

## 職業キャリア成熟測定尺度 狩野 2012

- 坂柳のACMSを基礎
- ①キャリア関心性、②キャリア自律性、③キャリア計画性

# 研究目的

- ▶ 2025年問題に向けて医療を必要とする人が増加していく現状の中で、看護師という専門職として生涯成長していくことは必要不可欠となっている。
- ▶ 近年ではキャリア成熟度を開発・測定している研究も発表されてきている。しかし、現在、看護師の「キャリア」の研究は成されているが、研究の動向についてのものはない。
- ▶ そこで、看護師の「キャリア」に関する研究の動向を明らかにし、今後の看護師のキャリア開発がさらに発展する示唆を得るために本研究を行う経緯に至った。

# 調査方法

- ▶ 医学中央雑誌Ver.5にて、「看護師」「キャリア」をキーワードとし、年代を絞らずに原著論文を検索。
- ▶ 2019年10月9日の時点で790件の文献がヒットした。このうち、キャリアを「保菌者」として捉えている14件の文献を除いた776件の文献を対象。

# 分析方法 1

- ▶ 医学中央雑誌Web Ver.5 にて、「看護師」「キャリア」をキーワードとして原著論文で検索
- ▶ 研究対象とする776件をタイトル・発表年別で分類し、Text Mining Studio 6.2にて分析

# 分析方法 2

- ▶ 文献タイトルを基本情報として算出
- ▶ 発表年のデータをビジュアル集計
- ▶ 5年ごとに区切った発表年を単語頻度分析
  - ▶ 名詞・形容詞・形容動詞・動詞、単語抽出条件なし、抽出しない態度表現なし、頻度1回以上、文字数1文字以上、行中に現れる重複表現のカウントを1とする、上位20件
- ▶ 係り受け頻度推移
  - ▶ 頻度上位の係り受け、話題一般、期間の集約しない上位20件
- ▶ ことばネットワーク
  - ▶ 共起関係、話題一般、行単位での共起、最低信頼度60、頻度4回以上

# 用語の定義

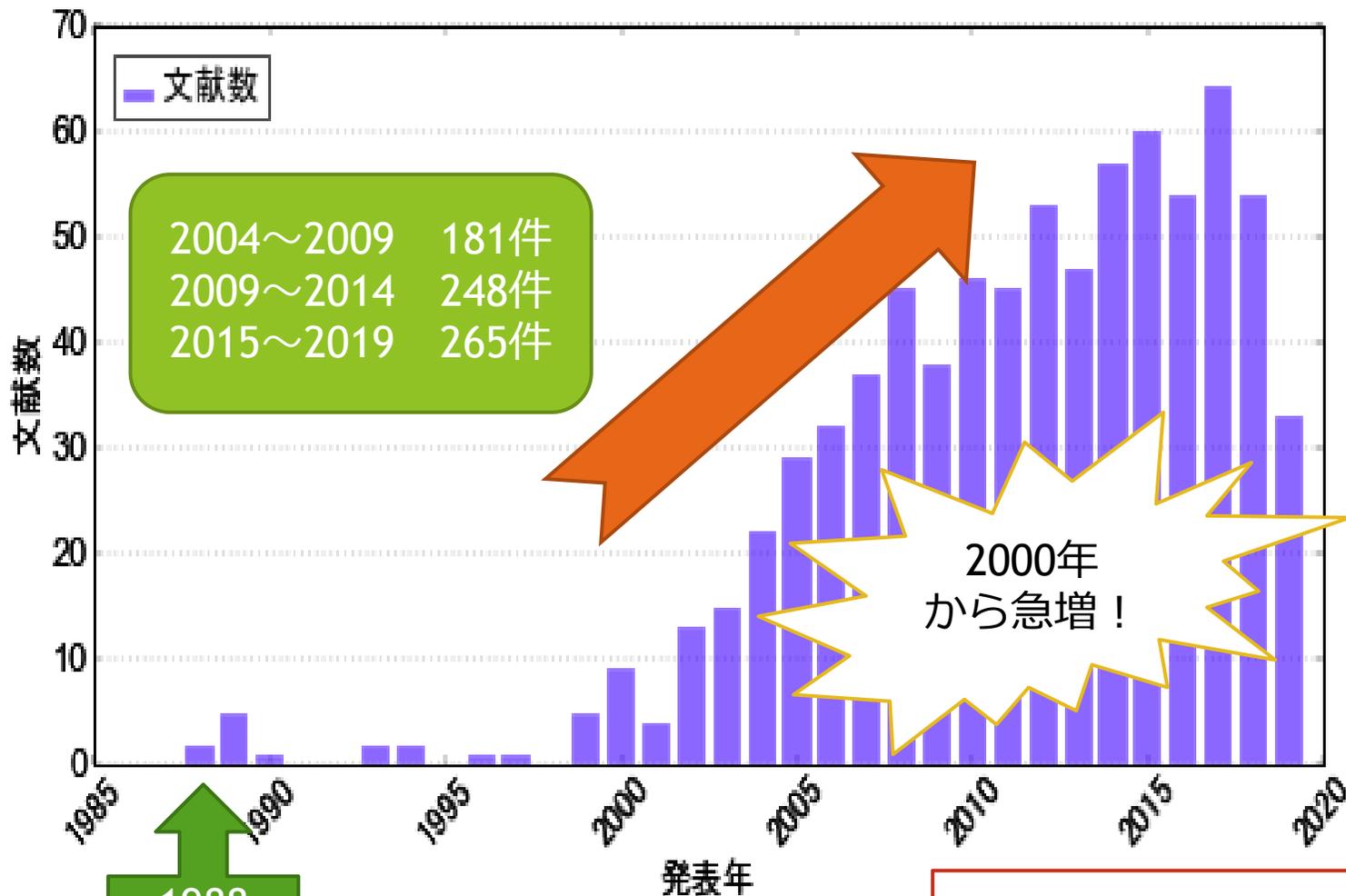
## ▶ キャリア

- ▶ 人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ね。

## ▶ 看護師のクリニカルラダー

- ▶ 看護師の能力開発・評価のシステムの1つ。看護師の看護実践能力を段階的に表し、各段階において期待される能力を示し、到達度によって看護師の能力が示されるシステム。

# 結果 1 年次推移

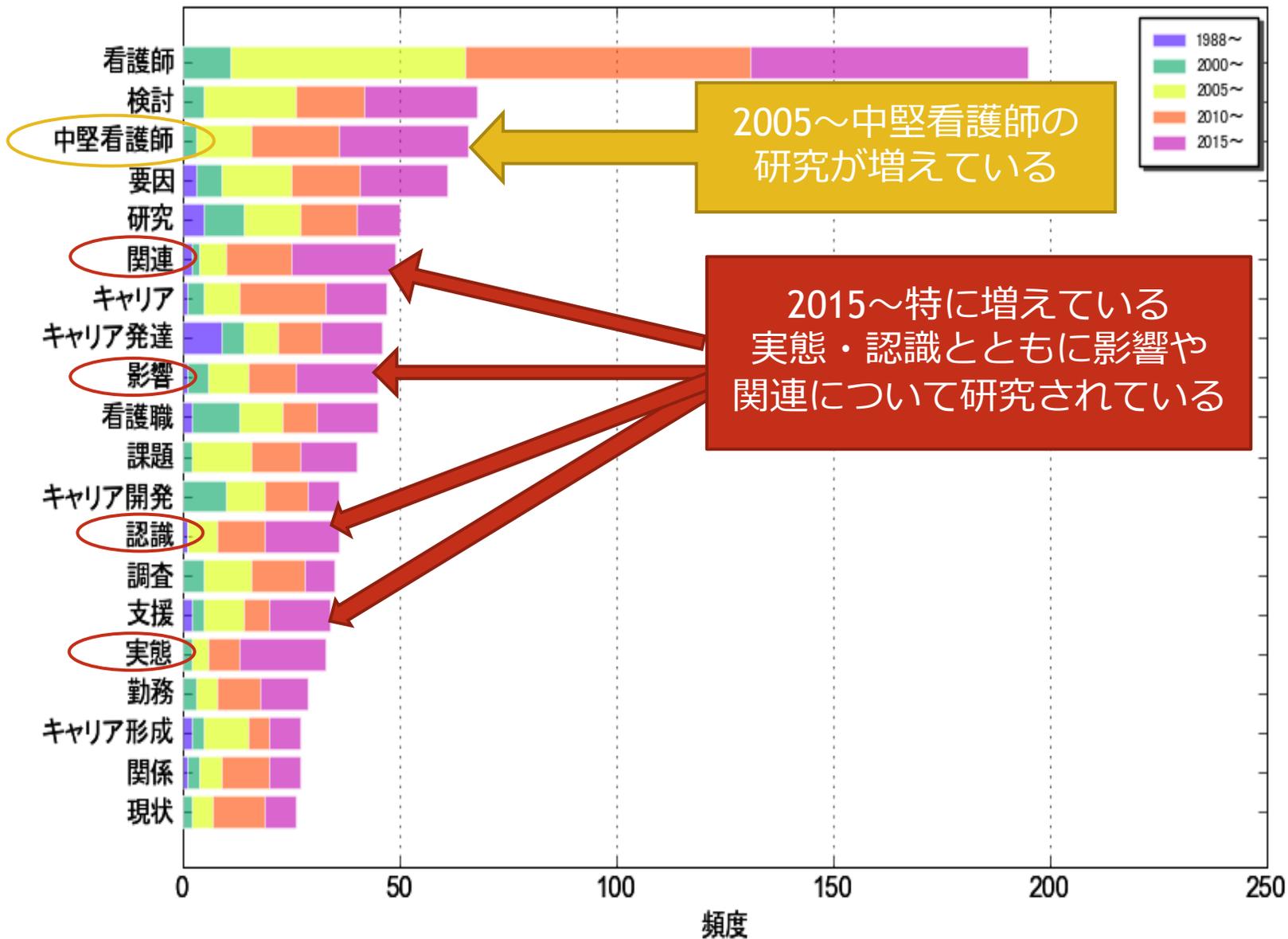


1999年に坂柳が開発、発表した「成人キャリア成熟尺 (ACMS)」の影響であると考えられる。

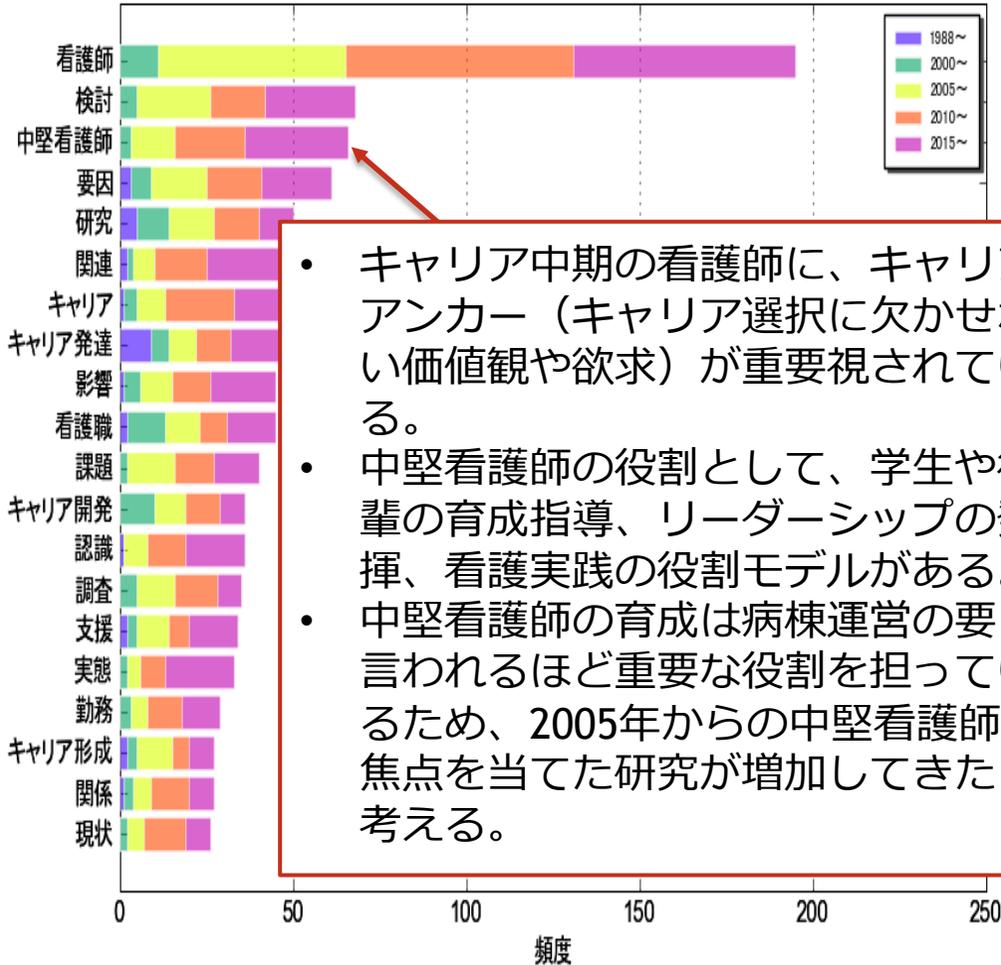
## 結果 2 論文タイトルの基本情報

	項目	値
1	総行数	776
2	平均行長(文字数)	33.9
3	総文章数	777
4	平均文章長(文字数)	33.8
5	延べ単語数	4772
6	単語種別数	1924

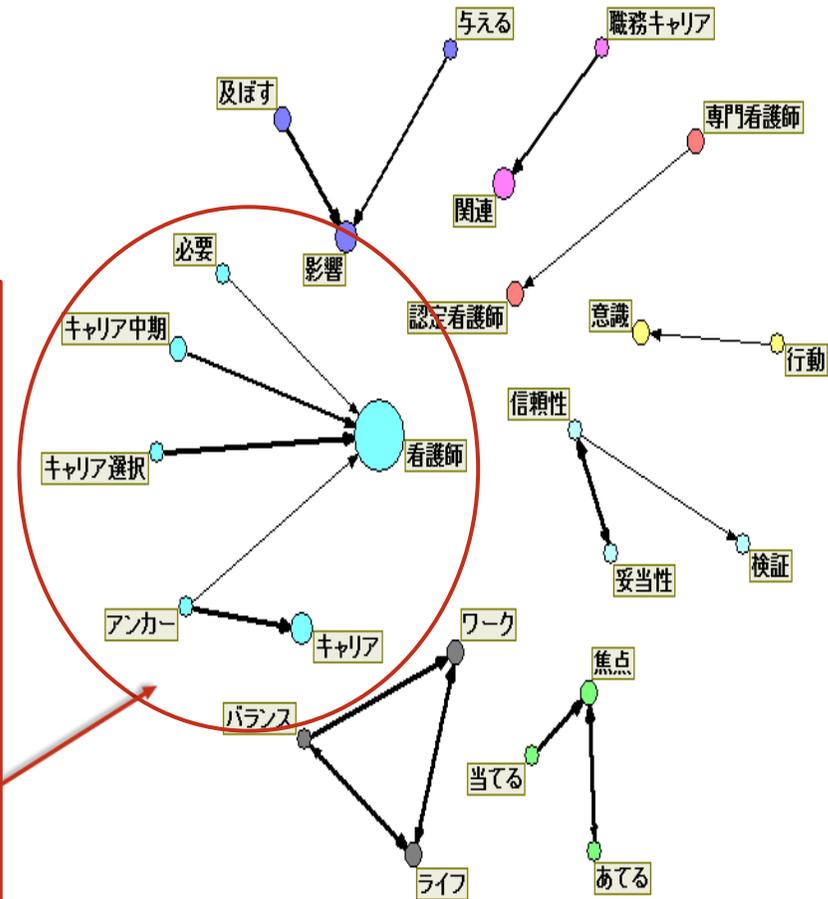
# 結果3 単語頻度分析



# 結果 4 キャリア中期 中堅看護師の研究の増加

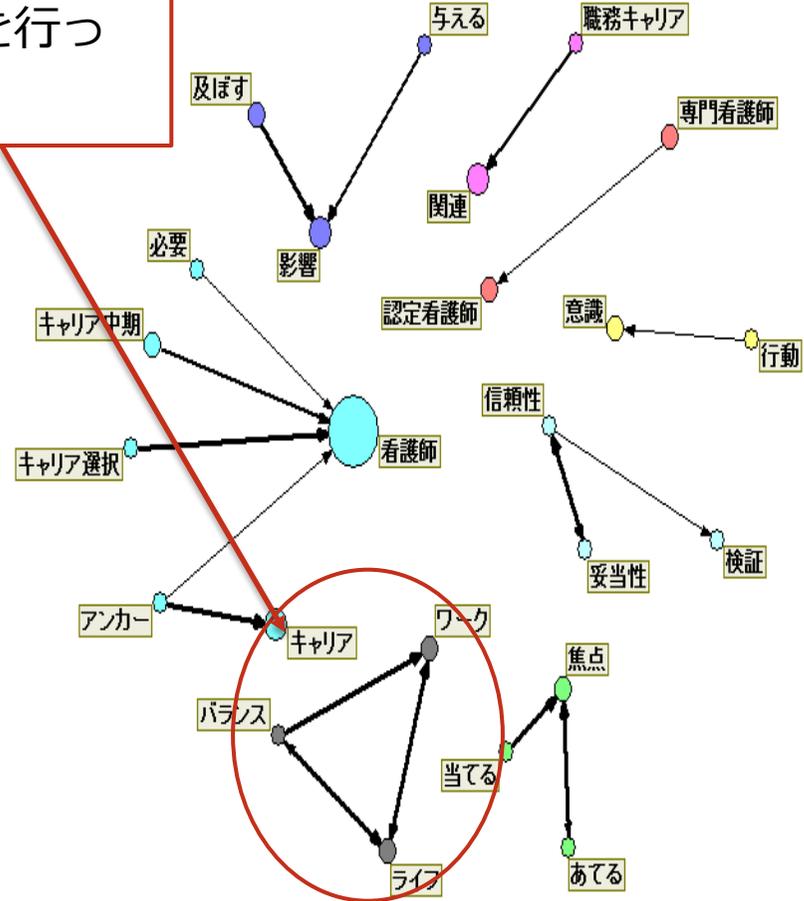
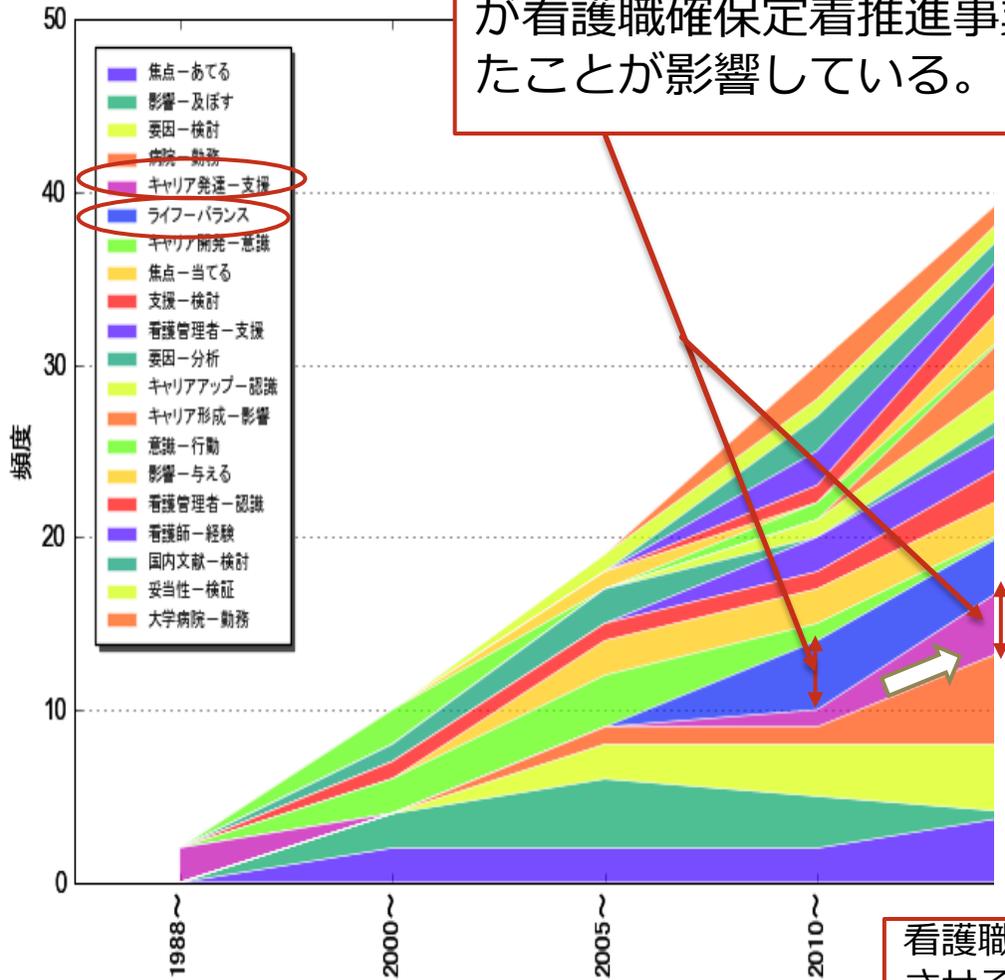


- キャリア中期の看護師に、キャリアアンカー（キャリア選択に欠かせない価値観や欲求）が重要視されている。
- 中堅看護師の役割として、学生や後輩の育成指導、リーダーシップの発揮、看護実践の役割モデルがある。
- 中堅看護師の育成は病棟運営の要と言われるほど重要な役割を担っているため、2005年からの中堅看護師に焦点を当てた研究が増加してきたと考える。



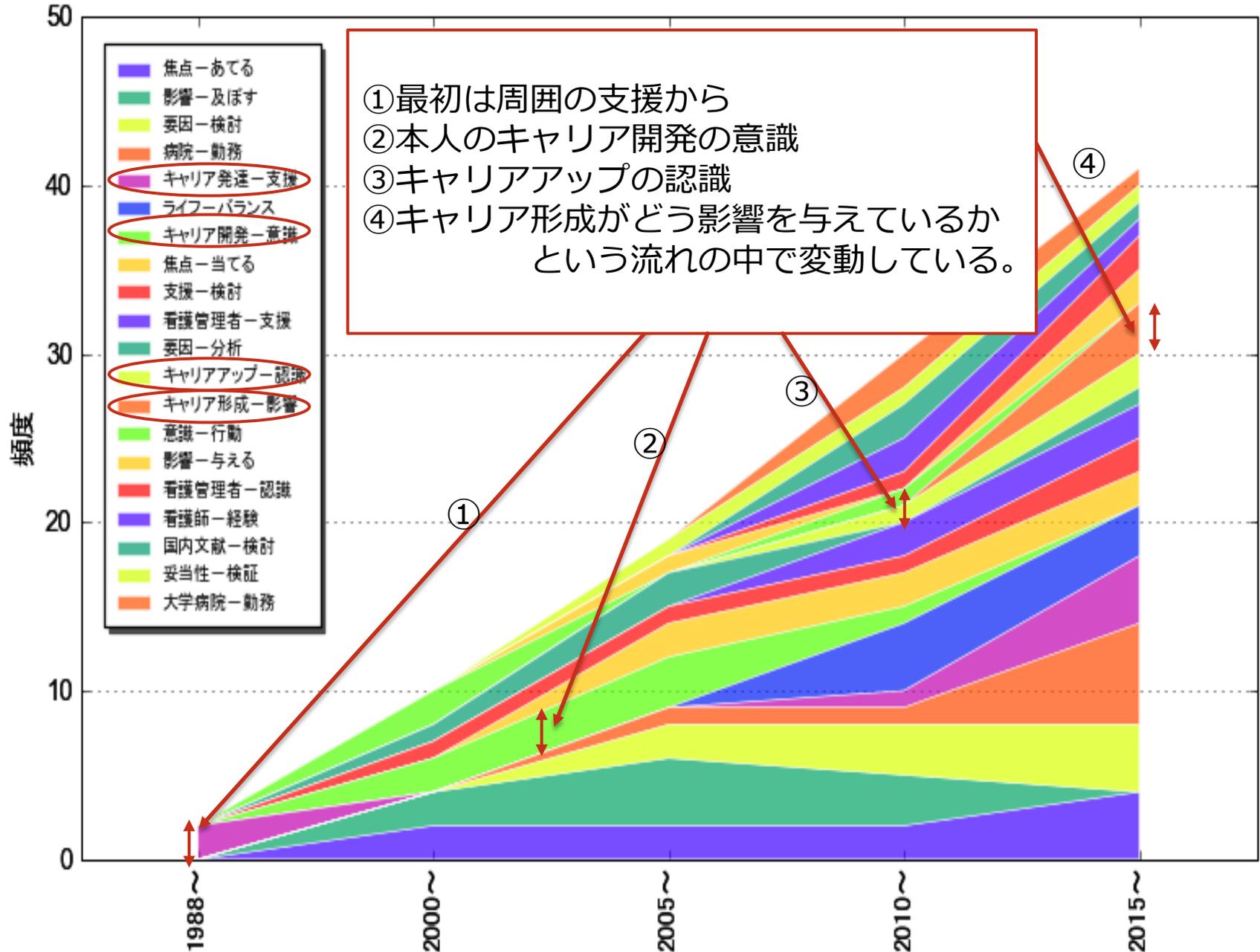
# 結果5 ワーク・ライフ・バランスの重視

2007年から2009年に日本看護協会が看護職確保定着推進事業を行ったことが影響している。

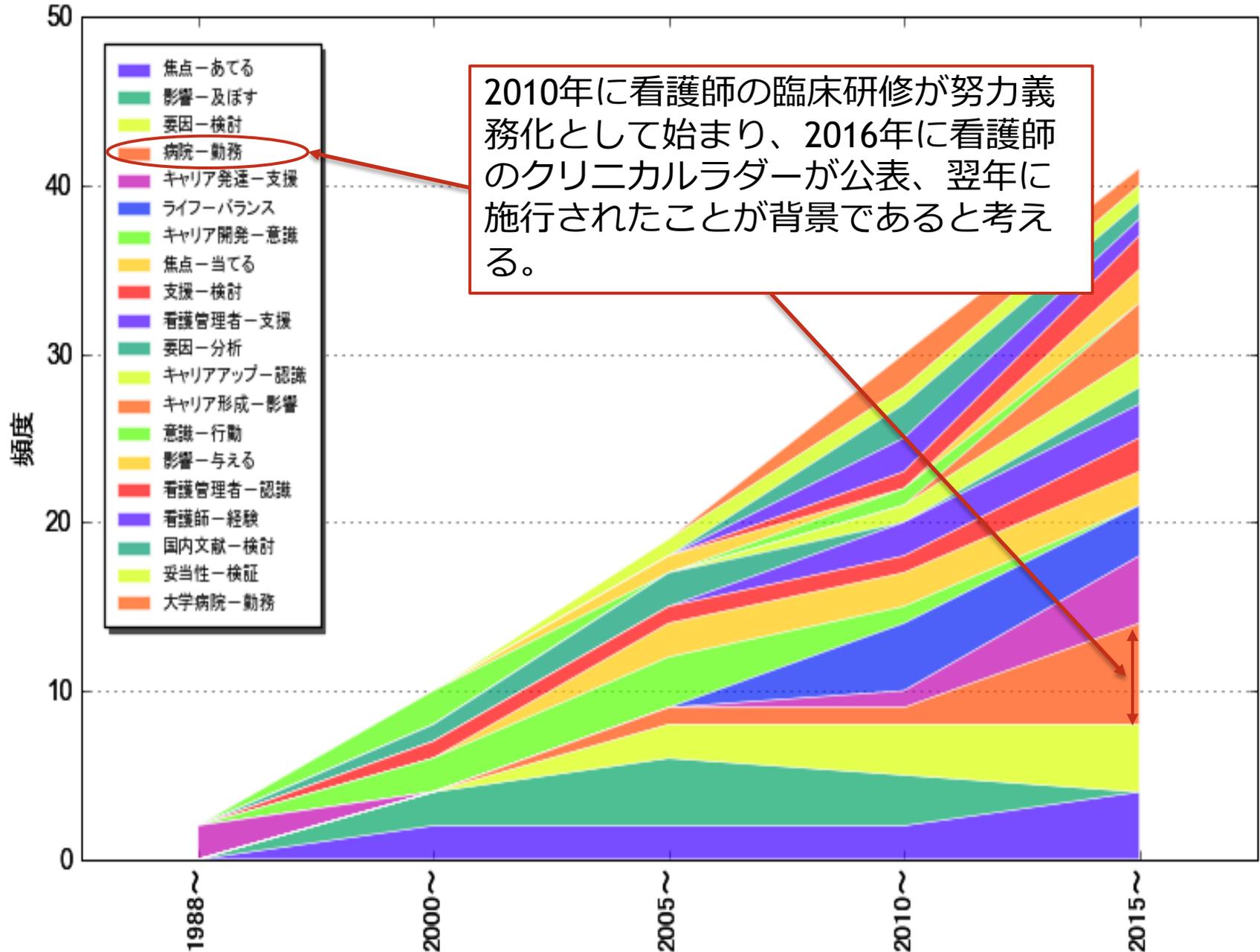


看護職確保定着推進事業：病院勤務の常勤看護職の離職率を低下させるために、専門職としての働きがいのある条件の整備と、生活者としての適切なワーク・ライフ・バランスの実現に取り組み、キャリアの継続を図るもの。

# 結果6 キャリア研究の変動



# 結果7 看護師のクリニカルラダーの影響



# 結論

1. キャリアの成熟度を測定する尺度開発に伴い、文献数が増加している。
2. 「中堅看護師」については看護職確保定着推進事業をさかいに、中堅看護師を対象とした研究が増加している。
3. キャリアに関する動向としては、最初は周囲の支援から始まり、次いで本人のキャリア開発の意識、キャリアアップの認識、そしてキャリア形成がどう影響を与えているかという4つの流れの中で変動していた。
4. 臨床研究の努力義務化やクリニカルラダーの推進とともに、病院に勤務する看護師が研究対象となってきた。

# 本研究の限界と今後の課題

- ▶ 本研究では、1988年から1999年までと、2000年からは5年ごとに分けていった。しかし、年代の特徴を細かい部分まで見るためには、それに加えてそれぞれの年ごとに分けて分析をする必要があったと考える。
- ▶ 単語頻度解析などで「キャリア」「キャリア発達」「キャリア開発」「キャリア形成」といった類義語が出現してしまったため、さらに細かくみる必要があったと考える。
- ▶ 今回は、キャリアに関する文献のタイトルのみで分析を行ったが、近年の研究ではキャリア成熟度についての研究も発表されている。今後は、より細かくキャリア成熟度についての研究の動向をみていきたい。

# 謝辞

- ▶ 本研究で分析を行うにあたり「Text Mining Studio 6.2」を使用させていただきました株式会社NTTデータ数理システム様に感謝申し上げます。
- ▶ また、本研究にご指導いただきました山陽学園大学 林由佳准教授に感謝申し上げます。

# 文献

- ▶ 厚生労働省：新人看護職員研修について，政策レポート．2019年5月21日閲覧  
<https://www.mhlw.go.jp/seisaku/2010/01/04.html>.
- ▶ 厚生労働省：特定行為に係る看護師の研修制度の概要．2019年7月29日閲覧  
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000070423.html>.
- ▶ 坂柳恒夫：「成人キャリア成熟尺度（ACMS）の信頼性と妥当性の検討」，愛知教育大学研究報告，48（教育科学編），115-122，1999.
- ▶ 林有学，松村喜世子，石飛悦子，米山京子：「看護師の職業的キャリア成熟度測定尺度の開発」，日本看護学会論文集，看護管理36号，380-382，2006.
- ▶ 狩野京子，李志嬉，中島望，實金栄，山口三重子，中嶋和夫：「看護職者の「職業キャリア成熟測定尺度」に関する構成概念妥当性の検討」，岡山県立大学保健福祉学部紀要，第19巻1号，19-29，2012.
- ▶ 中央教育審議会：「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」．2019年10月10日閲覧  
[http://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/shingi/toushin/\\_icsFiles/afieldfile/2011/02/01/1301878\\_1\\_1.pdf](http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2011/02/01/1301878_1_1.pdf)
- ▶ 日本看護協会：看護師のクリニカルラダーの開発について．2019年7月29日閲覧  
<https://www.nurse.or.jp/nursing/education/jissen/kaihatsu/index.html>.
- ▶ 日本看護協会：看護職確保定着推進事業3カ年事業報告書．2019年10月21日閲覧  
[https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/kakuho/2010/we\\_need\\_you\\_report.pdf](https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/kakuho/2010/we_need_you_report.pdf)
- ▶ 日本看護協会：2012年病院における看護職員需給状況調査．2019年10月21日閲覧  
<https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/research/86.pdf>
- ▶ 山根一美，井上祐子，倉田節子，小河育恵，岡須美恵：「中堅看護師から中間看護管理者への役割移行に伴う支援に関する文献検討」，ヒューマンケア研究学会誌，第5巻1号，79-83，2013
- ▶ 里光やよい，今野葉月，須釜なつみ，市塚京子，佐藤淳子，鈴木照実，古橋洋子：「看護師長が語る中堅看護師育成についての認識と対応」，自治医科大学看護学ジャーナル，第10巻，93-102，2012
- ▶ 本文内のイラストは看護roo!イラスト集より <https://www.kango-roo.com/ki/>.